

春季塗料講演会

「自動車を中心とした塗料・塗装の最新動向(新たな機能性付与・環境対応の新展開)」

関東支部は、塗料業界の技術向上と発展を目的として、春季と秋季の年2回塗料講演会を開催しております。本年度の春季塗料講演会では、機能性付与および環境対応に関するトピックについて、最前線で活躍する諸先生方にご講演をいただきます。技術革新の著しい自動車用途においては、自動運転技術への対応、カーボンニュートラル施策、機能性顔料に関して、用途を拡げて、塗料におけるライフサイクルアセスメント(LCA)に関して、また環境対応の進む製缶用塗料に関して、最新の知見と技術情報が提供される内容となっております。技術者の方々はもちろん、塗料・塗装業界の将来に関心をお持ちの皆様にとりまして有益な情報を得られる場となることを確信しております。多くのご参加を心よりお待ちしております。

主催 一般社団法人色材協会関東支部
協賛 日本塗料工業会, 関東塗料工業組合, 東京塗料商業協同組合, 日本塗料検査協会, 日本化学会,
自動車技術会, 化学工学会, 日本塗装技術協会, 腐食防食学会
日時 2025年5月15日(木) 9:40 ~16:40
会場 東京都中央区日本橋三丁目7番20号 ディーアイシービル 2F 会議室
東京メトロ 銀座線・東西線, 都営浅草線 日本橋駅から徒歩約2分, JR 東京駅から徒歩約5分

演台・講師

1. 9:45~10:45 「自動運転に用いられるミリ波レーダーに対応する塗装技術」

日産自動車株式会社 筒井宏典

自動運転技術の普及に伴いバンパー塗装のレーダー透過性は重要な課題となっている。本報では、レーダー減衰に影響を与える因子と実験計画法を用いたその寄与度の明確化、さらには、改良方策の検討結果について報告する。

2. 11:00~12:00 「自動車塗装 CN 研究会の取り組み 第二回勉強会を終えて」

スズキ株式会社 中子浩伸

自動車 OEM8 社が集まり議論を重ねてきた自動車塗装のカーボンニュートラルについて、いくつかの方向性がまとまりましたので、内容を展開させていただくとともに、共に技術を開発していただける仲間を募ります。(第二回 CN 勉強会(本年3月実施)の内容の展開となります。)

3. 13:00~14:00 「塗料における LCA(ライフサイクルアセスメント)の取り組みについて」

日本ペイントコーポレートソリューションズ株式会社 河野友浩

近年、企業での LCA 活用が進んでいるが、ケーススタディは事業活動の可視化と新たな気づきをもたらす。本講演では、塗料に関する LCA の動向や具体例を紹介し、塗料特有の課題や今後の可能性について議論する。

4. 14:15~15:15 「機能性ハイパフォーマンス顔料を用いた、NIR マネージメントについて」

DIC株式会社 大野恭弘

従来、顔料に求められる性能は、可視光領域の光の吸収をコントロールすることにより発現してきた。近年では、そのコントロール領域を近赤外線(NIR)に広げ、色以外の機能の発現を狙った顔料が出てきている。本稿では、NIR マネージメントの産業用途について説明する。

5. 15:30~16:30 「製缶塗料の基礎と環境対応に向けた取り組みについて」

トーヨーケム株式会社 夏本徹哉

食料缶や飲料缶に適用されている内外面塗料(製缶塗料)に関する基本的な要求性能・設計について、そしてビスフェノール A や PFAS に対する規制など製缶塗料に関わる環境関連の法規制と近年の動向について説明いたします。

参加費 会員 20,000 円, 会員外 33,000 円(テキスト代含む, 税込)(協賛学会員は会員扱いとします)
※テキストは事前に送付いたします。

定員 100 名(先着順) お早めにお申し込みください。
テキスト送付の都合上, 5月7日(水)までにお申し込みください。

申込方法 色材協会ホームページ(<https://shikizai.org/>)の申込フォームからお申し込みください。
参加費は銀行振込にて、講演会前日までにお振込みください。

銀行口座: 三菱 UFJ 銀行 恵比寿支店 普通預金 No.1547898 (社)色材協会

お問合せ先 〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 3-12-8 東京塗料会館 201 号室

(社)色材協会 TEL 03-3443-2811 FAX 03-3443-3699 E-mail: admin@jscm.or.jp

参加ポリシー ・受講者は、講座内容の撮影、動画・音声の録画・録音を禁止とします。

・上記条件を理解・同意した上で申し込みください。